

IPBES花粉媒介者、花粉媒介及び食料生産に関する価報告書SPM(2016年)の概要

A.花粉媒介者と花粉媒介の価値

- **生態系の維持に不可欠**—地球上の野生顕花植物種の**90%**が動物による花粉媒介に依存。
- **人間の食料と栄養に寄与**—世界の主要作物種の**4分の3以上**、全作物生産量の**35%**は花粉媒介者に依存。市場価値換算で**2,350~5,770憶米ドル**相当の寄与、**何百万人も**の雇用と収入を提供。人が摂取する**微量栄養素、ビタミン類、ミネラル類**の大部分を占める果物、野菜、ナッツ類等も含む。
- **花粉媒介種の大多数は野生種**—少数の飼育種も含め、花粉媒介者の**多様性と個体数**が作物の収量と品質に寄与。
- **食料の他にも多様な恩恵**—医薬品、バイオ燃料、繊維、レクリエーション、インスピレーション等も。**数千年前**から人類に重要な存在。

B.花粉媒介者と花粉媒介の現状と傾向

- **野生の花粉媒介種**—確認数と多様性が**減少**。花粉媒介脊椎動物種の**16.5%**が世界的な絶滅危惧種、ハナバチやチョウにも高い脅威。
- **飼育下のセイヨウミツバチ**—過去50年間で巣数は**世界的に増加**、欧州数か国と北米で**地域的、局所的に減少**。

C.変動要因、リスク、チャンスと対応策

- **花粉媒介者と花粉媒介への脅威**—土地利用変化、集約的農業、農薬使用、環境汚染、侵略的外来種、病原体、気候変動等。**ネオニコチノイド系殺虫剤**の影響を示す証拠がある。**遺伝子組替作物(GMO)**の影響は適切に評価されておらず未知。**寄生生物**が重大な脅威。
- **脅威への戦略的な対応策**—生態学的強化、**多角的農業システム、農村景観の自然・半自然生息地の保全・再生とネットワーク化**等。**先住民と地域住民の知識体系**が重要な役割をもつ。
- **ガバナンス向上**—分野、管轄、空間規模をつなぐ**協調**

